

第3章

計画の基本的な考え方

1 基本的な視点

この計画の推進にあたっては、次の4つの“C”を基本的な視点とします。

(1) 子育てしやすい“コミュニティ(C)”づくり

本市では、大規模住宅開発や中高層マンション等が増えていることなどから、20歳から40歳代の若い「子育て世代」の転入が増えています。

そのため、地域の中では、新たに市民となった子育て世代と既に川崎に住んでいる人々がお互いに暮らしやすいまちづくりを進め、地域への愛着が実感できる取組が求められています。

地形や風土、そこに暮らす人々の暮らしがそれぞれ違うことを踏まえながら、心豊かな地域づくりを推進していきます。

(2) 人と人とのつながりの再構築に向けた“コミュニケーション(C)”

価値観の多様化などに伴い、人と人とのつながりが希薄化する中、地域で人と人とのつながりを持ちたくても持てない状況があります。

また一方で、IT化の進展による新たなつながりが、日常生活における個人化を促進しています。

子育ての基本は家庭にあります。家庭の育児力や地域における助け合いや支え合いの機能の低下により、社会的な孤立、児童虐待など、子育てを取り巻く様々な社会問題が起きています。

子育てを地域や社会全体で支えるため、地域における人と人とのつながりを再構築し、地域の困りごとを地域で把握して、地域で解決することができるような仕組みづくりを推進していきます。

(3)多様な主体との協働に向けた“コラボレーション(C)”

子育てを地域や社会全体で支えるためには、子育て家庭が暮らす地域、子育て世代が働く企業、育児休業制度の充実や「子ども・子育て新システム」の構築など、子ども・子育て支援策の制度等の立案を担う国や地方自治体、保育所の運営や、多様な子ども・子育て支援サービスを提供する事業者などが協働していく必要があります。

そのため、多様な主体が、共に手を携えて、地域や社会全体に動きを広げる仕組みづくりを進めます。

(4)利用者ニーズとサービス選択のマッチングに向けた“コーディネート(C)”

子育てする親の価値観の多様化や社会・経済環境の変化から、子ども・子育て支援サービスの利用ニーズは深化・複雑化しています。

そのため、利用者の視点に立って、適切な利用が促進されるような仕組みづくりや情報提供の充実、きめ細やかな相談・コーディネート機能の強化など、サービスの質の向上に向けた取組を進めます。

2 基本目標

本市では、『かわさき子ども「夢と未来」プラン』において、次代を担う子どもが自分らしく健やかに成長していくための環境づくりや、将来親になる世代が、希望を持って子どもを産み育てることのできる環境づくりを社会全体で推進していくことを目指して

「小さな命に大きな未来、育ち育てるまち・かわさき」

を本市が目指すべき都市像(基本理念)として掲げています。

「第2期川崎市保育基本計画」(かわさき保育プラン)においては、この基本理念に沿って、“子どもの笑顔があふれ、未来の力を育むまち・かわさき”を目指して、すべての子どもの健やかな育ちが等しく保証され、家庭の役割の遂行が尊重できる取組を多様な主体との協働により推進していきます。

3 基本方向

基本目標の実現を図るため、次の**3つの基本方向**を定め、**9つの施策**を位置づけ、事業を推進していきます。

(1) “かわさき”の子育て支援の充実

仕事と育児の両立支援に向けて、保育需要や多様な利用ニーズに適切に対応するため、多様な主体による保育環境の整備や保育サービスの充実を図るとともに、利用者の視点に立った情報提供の充実や相談・コーディネート機能の強化を図りながら、サービスの質の向上に向けた取組を進めます。

また、保育サービスの利用における受益と適正な負担のあり方についても検討を進めます。

(2) 社会全体で子育てを支える仕組みづくり

これまででも、本市では、子育てしやすいコミュニティづくりを目指した取組を推進していますが、今後も区役所を拠点とした地域の子ども・子育て支援のネットワークづくりに向けた取組を推進するとともに、企業等における子育て支援の取組の支援に向けて、「ワーク・ライフ・バランス」を実現していく取組を進めます。

こうした社会全体で子育てを支える仕組みづくりに向けては、子育て家庭や地域、企業等の雇用主、保育所の運営を行う社会福祉法人や株式会社等、さらにはNPO法人などの子ども・子育て支援サービスの担い手や国・地方自治体などの多様な主体との協働による取組を進めます。

(3) 新たな制度への対応と大都市等との広域連携

国が検討中の「子ども・子育て新システム」の構築に対応するため、本市においても、地域主権改革の動向も踏まえながら、新たな制度への対応に向けた検討を進めます。

また、大都市に共通する課題の解決に向けて、課題の共有化を行うとともに、広域的な視点に立って、他自治体との連携を進めます。

【計画の体系図】

第2期川崎市保育基本計画（かわさき保育プラン）
 ～ 子どもの笑顔があふれ、未来の力を育むまち・かわさき ～

